

「ヤン&エヴァ シュヴァンクマイエル展」にて 同氏との伝統木版画のコラボ作品を発表

世界的なシュルレアリストとして知られ、映画作品や美術造形作品など数多くの作品を手掛けるヤンシュヴァンク・マイエル。このたび、弊社は同氏が描いた絵画をもとに浮世絵木版画の制作を手掛けた。日本の百鬼夜行絵巻を意識した妖怪と、同氏が独自に生み出した妖怪からなる絵柄で、描かれた下絵8枚のうちから3作品を木版画で制作した。(うち1点は茨木の木版工房・残り2点を弊社が制作)制作中には弊社に同氏が訪れ、4代目・竹中清八が腕前を披露し、交流を深めた。約100回にわたり手摺りして仕上げた作品は22日から始まる「ヤン&エヴァ シュヴァンクマイエル展」にて展示される。国境を越えたコラボレーションにより、伝統ある職人技術と木版画の素晴らしさを世界に発信していく。



各¥45,000(税込) * 先行予約販売中

京版画/サイズ 大判錦絵 394mm×271mm 落款「殊萬句舞繪鏝」

作品には、エディションナンバーとサインが入ります(エディション数 100)

竹笹堂とは

明治24年創業の「竹中木版 竹笹堂」は浮世絵などの伝統的な作品を展開するほか、オリジナルのステーションナリーを制作販売している。このたび制作を担当した四代目・竹中清八は平成15年に「現代の名工」として厚生労働大臣より賞を授かり、また平成17年には「黄綬褒章」を日本国天皇より授与された。京都木版画工芸組合の理事長、文化庁選定「浮世絵彫摺技術保存協会」前京都理事長、また国際浮世絵学会の理事を務め、木版の発展・継承にも力を注いでいる。